

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
日本史B	国際交流科	2	3	詳説日本史B（山川出版社）	最新日本史図表(初訂版)、新日本史研究ノート [標準編]

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の歴史と文化の展開を、各時代の国際環境や地理的条件と関連づけて、世界の中の日本という視点から、多面的・多角的に考察し、理解する力を養う。</li> <li>・わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求する態度を養った上で、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての自覚を促す。</li> <li>・わが国の歴史の基本的な事項を理解した上で、学習内容と現代の諸事件や課題との関連性を意識させ、現代及び将来の課題を多角的・客観的に考察し、公正に判断していく力を身につけさせる。</li> <li>・歴史学習における資料の重要性を理解させるため、資料を中心とした学習を行う。</li> </ul>
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	原始・古代 日本文化のあけぼの	1 文化のはじまり	・旧石器文化・縄文文化の理解を通して、日本人や日本の文化の原点について考察する。
	5		2 農耕社会の成立	・縄文時代と弥生時代の差異に注目し、農耕開始により階級社会の成立や小国の統合などの社会の変化が生じたことを理解する。
			3 古墳とヤマト政権	・ヤマト政権による統一国家形成の過程や古墳文化の特色を、当時の東アジア情勢や東アジア文化の伝来と関連させて理解する。
			1 飛鳥の朝廷	・6世紀のヤマト政権の危機的状況および聖徳太子の政治について、当時の東アジア情勢をふまえて理解する。
二	6	律令国家の形成	2 律令国家への道	・わが国初の仏教文化である飛鳥文化の特色について理解する。
	7		3 平城京の時代	・東アジア諸国の外圧のなかで改新政治が進展し、天皇を頂点とする中央集権の律令国家が成立したことを理解する。
			4 天平文化	・律令国家形成期の気運を反映した白鳳文化の特色を理解
			5 平安王朝の形成	・律令国家の人民支配と民衆の生活状況について理解する。
二	9	貴族文化と国風文化	1 摂関政治	・奈良時代の政治とその特色について理解する。
	10		2 国風文化	・律令国家の土地政策の変化と土地制度史学習の意味を理解し、平安時代以後の変化を考察する。
			3 地方政治の展開と武士	・天平文化について、その国際性に注目して理解する。
			1 院政と平氏の台頭	・律令体制の修正・強化に努めた平安初期の政治について理解
三	11	中世	2 鎌倉幕府の成立	・密教を中心とした平安初期の文化について理解する。
	12		3 武家の社会	・藤原氏の力掌握過程と摂関政治の特色について理解する。
			4 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退	・婚姻のもつ意味について、武家社会との比較考察を行う。
			5 鎌倉文化	・文化の国風化とその歴史的意義について理解する。
三	1	武家社会の成長	1 室町幕府の成立	・荘園制度の構造と展開および武士台頭の過程を理解し、地方の動向から中世社会の胎動を考察する。
	2		2 幕府の衰退と庶民の台頭	・院政と摂関政治の相違と古代国家の解体の過程を理解する。
			3 室町文化	・平安末期に武家文化、庶民文化の兆しが表れることを理解する。
			4 戦国大名の登場	・源平争乱の過程を理解する。
三	3	武家社会の成長	3 室町文化	・武家政権の構造と土地支配の様子から、鎌倉幕府の特色について理解し、武家政治の特徴や武士の生活の様子を把握する。
	3		4 戦国大名の登場	・執権政治の特色とその成立過程を理解する。
			3	4 戦国大名の登場
三	1	武家社会の成長	1 室町幕府の成立	・元寇の東アジア史的意義と幕府に与えた影響を理解する。
	2		2 幕府の衰退と庶民の台頭	・武士や庶民の台頭と鎌倉新仏教の成立について理解する。
			3 室町文化	・建武新政・室町幕府の成立・南北朝の動乱の過程と争乱の理由を理解する。
三	2	武家社会の成長	3 室町文化	・倭寇や日明・日朝貿易に注目し、当時の東アジア情勢と日本との関わりについて理解する。
	3		4 戦国大名の登場	・幕府の衰退と民衆の活発化の理由を理解し、室町時代の社会の特色を明確にする。
			3	4 戦国大名の登場
三	3	武家社会の成長	4 戦国大名の登場	・下剋上の意味を理解するとともに、現代の各地方の特色が戦国時代以来の大名領国制によるものが多いことを理解する。
	3		4 戦国大名の登場	・南蛮文化の意義と現代日本とのつながりを理解する。
			3	4 戦国大名の登場

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
◎評価の方法 「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発言、小テスト、提出物の提出状況、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。				